

学校経営方針

1 学校教育目標

「自分やみんなを大切にする子」

- ◎ よく考えくふうしよう
- ◎ なかよく助け合おう
- ◎ 心と体をきたえよう

2 学校経営の基本方針

常に子どもの側に立った教育の推進

- 子どもたちの「学力向上」に努める学校
- 子どもたちの「安全・安心」が守られる学校
- 子どもたちの「心と体の健康づくり」を進める学校

3 重点目標

- 学習規律、基礎・基本の学習内容と基本的な生活習慣の定着
- ◎ 自分で考え、発表し、自ら行動に移せる児童の育成
- ◎ 児童一人一人が自尊心を着実に育み、互いの違いを認め、尊重し合い、学び合う集団づくりの推進（人権意識と実践力）
- 運動の必要性を理解するとともに楽しさを味わい、進んで運動する習慣の確立
- 保護者や地域から信頼される学校づくり

4 教育活動の具体的な取組

(1) 子どもたちの「学力向上」に努める学校

- ①授業時数を確保します。（チャイムで始まり、チャイムで終わるようにします。）
- ②指導法の工夫による授業の充実を行います。（児童がわかる授業、興味・関心のある授業、基礎基本の定着、授業スタンダードの確立、個に応じた指導、ICTの活用、SDGSの実践）
- ③コミュニケーション能力の育成を図ります。（言語環境の整備、対話的な学び合いのある授業、間違えても許される雰囲気のある教室）
- ④学習規律を重視します。（はじめのある生活）⑤教育課程に対応する公平な学習評価をします。
- ⑥「主体的・対話的で深い学び」に結びつく体験的な学習や問題解決的な学習を実施します。
- ⑦校内研究 今年度は、文部科学省の人権尊重教育研究校に指定されています。研究主題は「互いに高め合う児童の育成」～思考力・表現力を高める工夫を通して～です。
- ⑧休み時間や放課後に補習指導を行います。⑨ボランティアによる読み聞かせ等読書活動を充実させます。⑩本校の魅力ある教育活動「オーケストラ」を充実させます。

(2) 子どもたちの「安全・安心」が守られる学校

- ①自尊心を高め、自他を尊重できる児童の育成を図ります。
- ②安全教育の実施（交通安全、防災・減災教育、避難訓練を行います。）
- ③生活指導の改善（担任だけでなく組織で対応します。いじめの早期発見に努め、いじめがあれば、即いじめ対策防止委員会を開き、解決できるよう努めます。）
- ④関係諸機関との連携を密にします。（セーフティ教室や交通安全教室、薬物乱用防止教室など）
- ⑤教育相談・特別支援教育の充実（スクールカウンセラー、子ども家庭センター等との連携）
- ⑥生命の大切さ、思いやりの心の育成を図ります。
- ⑦学校行事や宿泊行事を児童の成長の機会となるよう努めます。（4年常総5年霧ヶ峰6年日光）

(3) 子どもたちの「心と体の健康づくり」を進める学校

- ①心身の調和的発達を図り、明るく活力のある生活を送る能力や態度の育成（体力向上、健康志向）
- ②あいさつ、返事の定着を図ります。③異年齢活動の実施・他校種や地域の方との交流を行います。
- ④ボランティア活動（全学年）を進めます。⑤食育の推進を行います。（成人病予防等）